

群馬県多野郡上野村議会

2 住民に開かれた議会

上野村は、いわゆる『平成の大合併』のうねりの中、村民の総意に基づき、合併しないで自立自存の道を継続する意思決定をしたが、村政を取り巻く状況は厳しく、議会として村民の多様な意見を的確に把握し、常に村民との対話を行い、村民の声を汲み取りながら、村民にとって最良の意思を決定することで、村全体の福祉向上と活力ある発展を目指すため、村民に開かれた議会を目指すこととした。

定例会や臨時会での本会議の様子は、村内全世帯が加入している農村型ケーブルテレビ局（村が運営している農村多元情報システム施設）によりライブ中継を行っている。

長時間の放映時間となるが、地域に密着した自主制作番組も手掛けるケーブルテレビ局スタッフの運営協力により、本会議の議事進行の様子が、タイトル付けやスーパー処理等施されていることから、視覚的にも大変見やすく、内容の把握も容易であり、村民の議会への関心向上にも繋がっていると思われる。また、議場への来場が困難な高齢者などにも非常に好評を得ている。

さらに、年4回発行する「議会だより」を通して、その審議結果を村民により分かり易く周知すべく努力しており、村民に開かれた議会となるべくこれらに取り組んでいる。

他方、自立自存を選択した本村では、人づくりも重要な課題であり、村の未来を担う子どもたちに、自分たちの暮らす上野村をより良い地域にするためにはどのようにすればよいかを自ら真剣に考えてもらう場としての子ども議会を開催し、議会としても村に誇りと愛着を持つ人材の育成に力を注いでいる。

この子ども議会は、地域の一員でもある子どもたちが、議員や村長等に対して、議会の場で提案するという貴重な体験を通じ、議会制民主主義、議会の役割や行政の仕組みを学ぶ機会をも提供しており、子ども議会を通じ、議会自らが議会の活動について広く情報発信していることで、子どもたちの父兄等の世代にも、議会をより身近に感じてもらえているのではないかと思われる。